

研究課題「新型コロナウイルス感染症の凝固異常の病態解明と重症化予測能に関する研究」に関する情報公開

1. 研究の対象

2020年9月1日～2022年3月31日に当院で新型コロナウイルス感染症で治療を受けた患者さんのうち、本研究への参加同意書に署名いただいた方

2. 研究目的・方法・研究期間

新型コロナウイルス感染症における凝固亢進状態のメカニズムの解明と、凝固亢進状態の評価が重症化予測に使用可能かを明らかにすることを目的としています。入院中の血液・尿・喀痰・唾液などの詳細な解析を行います。血液に関しては血の固まりやすさを調べたり、細胞一つ一つの遺伝子の発現(RNA)、タンパク質や代謝物の発現の変化、新型コロナウイルスのゲノム変異を調べたりします。

研究期間：実施承認日～ 2025年 12月 31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療で使用した薬剤、検査結果、集中治療室入室中の経過 等

試料：血液、尿、喀痰、唾液

4. 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、本学の研究責任者が保管・管理します。他の施設への検体提供は、匿名化され個人を提供できない状態で行います。

5. 研究組織

東京大学 先端科学技術研究センター ニュートリオミクス・腫瘍学分野 特任准教授 大澤 毅

国立病院機構 名古屋医療センター 総合内科・医師 濱田 博史

公立陶生病院 救急部・部長 横山 俊樹

小牧市民病院 集中治療部・部長 尾崎 将之

愛知県立愛知病院 院長 市橋卓司

愛知県衛生研究所 生物学部ウイルス研究室・主任研究員・安達啓一

大阪大学 高等共創研究院・感染機構研究部門・教授・岡本徹

慶應義塾大学医学部臨床遺伝学センター・教授・小崎健次郎

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者・研究代表者：名古屋大学医学部附属病院 救急科 春日井 大介

名古屋市昭和区鶴舞町 65

(052) 744-2659

研究分担者：公立陶生病院 呼吸器・アレルギー疾患内科／救急部集中治療室 横山俊樹

瀬戸市西追分町 160

(0561)82-5101